

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0205

(注)本稿は 2011 年 10 月 31 日から 11 月 5 日まで 5 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2011.11.5  
前田 高行

## MENA(中東・北アフリカ)22カ国の「ビジネス環境」(2012年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その13)

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 「Economy Rankings – Doing Business」について	1
2. 総合順位が MENA 諸国で最も高い国はサウジアラビア	2
3. 評価項目毎のランク	3
4. 主要5カ国と日本との比較(レーダーチャート)	5
5. 2008～2012年の順位の推移	6
6. MENA 主要5カ国と日本、中国の世界順位の比較	7

東はアフガニスタンから西はモーリタニアまでの MENA(中東・北アフリカ)22カ国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。

第13回のランキングは、World Bank(世界銀行)のグループ Doing Business がおこなったビジネス環境に関する世界各国のランキング(Economy Rankings)2012年版について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

\* Doing Business のホームページ: <http://www.doingbusiness.org/>

### 1. 「Economy Rankings – Doing Business」について

「Economy Rankings – Doing Business 2012」は、世界183の国あるいは地域のビジネス環境をランク付けしたものであり、当該国・地域でビジネス活動を行う場合の難易度を知る目安になる。判定は以下の10項目について順位付けを行い、それら10項目の順位の加重平均によって総合順位(Ease of Doing Business)が決められている。

- (1) Starting a Business (起業)
- (2) Dealing with Construction Permits(建設許可取得)
- (3) Getting Electricity (電力事情)
- (4) Registering Property(登記)
- (5) Getting Credit(信用取得)
- (6) Protecting Investors(投資家保護)
- (7) Paying Taxes(徴税)
- (8) Trading Across Borders(通関)
- (9) Enforcing Contracts(契約強制力)
- (10) Resolving Insolvency(清算)

ランク付けの対象となった国・地域のは数は183であるが、そのうち MENA は21カ国及びパレスチナ自治政府の22であり、リビアのみがランク付けされていない。

## **2. 総合順位が MENA 諸国で最も高い国はサウジアラビア**

(表<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-13aRank13a2012.pdf> 参照)

MENA 諸国の中でビジネス環境が最も良い(Ease of Doing Business)とされているのはサウジアラビアで、同国の世界順位は12位である。因みにこの順位は日本(20位)よりも高い。サウジアラビアについて MENA で二番目に高い評価を受けた国は UAE(世界33位)であるが、サウジアラビアとの格差は大きい。以下、イスラエル(世界34位)、カタール(同36位)、バハレーン(同38位)の4カ国が世界の30位台に続いている。上位5カ国のうちイスラエルを除く4カ国は GCC(湾岸協力機構)加盟国である。6位以下はチュニジア(世界46位)、オマーン(同49位)、クウェイト(同67位)、トルコ(同71位)であり、これら9カ国が世界の上位グループ(92位以上)に入っている。

上記以外のその他 MENA12カ国、1組織(パレスチナ自治政府)はビジネス環境としては世界の低位グループにとどまっている。それらを順に列挙すれば10位のモロッコ(世界94位)以下、ヨルダン(同96位)、イエメン(99位)、レバノン(同104位)、エジプト(同110位)、パレスチナ自治政府(同131位)、シリア(同134位)、スーダン(同135位)、イラン(同144位)、アルジェリア(同148位)、モーリタニア(同159位)、アフガニスタン(同160位)、イラク(同164位)となる(上述のとおりリビアはランク付けされていない)。イラク及びアフガニスタンは国内の治安が不安定で行政機構が十分な機能を発揮していないことがビジネス環境の評価を低くしていると考えられる。

昨年から今年にかけてチュニジア、エジプト及びリビアで政権が交替し、また「アラブの春」と呼ばれる民主化運動がバハレーン、イエメン、シリア等 MENA 諸国で相次いでいる。このためこれらの国ではビジネス活動が大幅に低下し、外国資本が逃避している。またスーダンは南北に分離独立した。本調査にはこれら最近のビジネスリスクが評価に十分反映されていないようである。従って本ランキングは法制度など形式的な面におけるビジネス環境の良否を判定したものと受けとめるべきであろう。

### 3. 評価項目毎のランク

(表<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-13a2012.pdf> 参照)

評価の対象となっている10項目について MENA 各国のランクを概観すると以下の通りである。

#### (1) Starting a Business (起業)

事業をスタートさせる難易度である「Starting Business(起業)」について MENA 諸国の中で最も起業しやすいとされた国はサウジアラビア(世界順位10位、以下同じ)である。これに次ぐのがエジプト(21位)、アフガニスタン(30位)、UAE(42位)、イスラエル(43位)、イラン(53位)、チュニジア(56位)の順である。エジプト、アフガニスタン、イランは総合順位では MENA の下位グループであり、特にイランとアフガニスタンは世界順位でも140位以下である。このような国が起業しやすい国とされているのは興味深い。一方総合順位では MENA の上位であるカタール及びクウェイトの GCC2カ国は世界ランクがそれぞれ116位及び142位と低く、他の GCC4カ国との格差が大きい。

#### (2) Dealing with Construction Permits(建設許可取得)

進出国の関係政府機関から工場を建設するための許認可を取り付けるための難易度を見るとはサウジアラビア(世界順位4位、以下同じ)、バハレーン(7位)が MENA の1位と2位を占めており世界のトップテンに入っている。この2カ国に続いて UAE(12位)、カタール(24位)、イエメン(35位)、オマーン(64位)と GCC 各国が上位を占めている。但しここでもクウェイトは世界121位であり他の GCC5カ国に大きく立ち遅れている。オマーンに続くのがモーリタニア(64位)、モロッコ(75位)、チュニジア(86位)のマグレブ諸国である。

一方 MENA でランクが最も低いのはイラン(164位)であり、世界160位台にはこの他アフガニスタン(162位)及びレバノン(161位)がある。イスラエル、エジプト及びトルコは MENA 諸国の中では外国企業が数多く進出しており工業化の進んだ国と言えるが、この項目の世界順位はそれぞれ137位、154位、155位とかなり低く規則の整備が遅れ或いは行政が非効率であることをうかがわせる。

#### (3) Getting Electricity (電力事情)

企業特にメーカーにとって進出先で安価で安定した電力が得られるか否かは事業の成否を決定する大きな要素と言える。MENAトップは UAE(世界順位10位、以下同じ)であり、続いてサウジアラビア、カタール(共に18位)、ヨルダン(36位)、チュニジア(45位)、イラク(46位)、レバノン(47位)、バハレーン(49位)の順である。この項目のトルコ、イスラエル及びエジプトの世界順位はそれぞれ72位、93位、101位でありあまり高くない。

#### (4) Registering Property(登記)

この分野では MENA1位のサウジアラビアが世界でも1位であることは特筆に価する。また UAE も世界6位でありこの面で両国は世界のトップレベルにある。これに続くのはオマーン(世界21位)、バハレーン(30位)、カタール(37位)であり、GCC 諸国が MENA の上位を占めている(但しクウェイトは88位)。

これに対して登記の難易度が高いとされているのは、アフガニスタン(世界172位)、アルジェリア

(167位)、イラン(163位)などである。この分野のイスラエルの順位は世界147位であり、上記(2)の建設許可取得とともに行政手続きがかなり煩雑であることをうかがわせる。後述するように信用取得、投資家保護、通関分野のランクが世界のトップテンに入っていることと比べて落差が大きい。

#### (5) Getting Credit(信用取得)

イスラエルは世界順位が第8位であり、信用取得に関しては MENA トップである。イスラエルに続くのがサウジアラビア(48位)であり、この項目に関してはイスラエルがずば抜けている。UAE、エジプト、トルコ、レバノン(世界78位の同順位)である。一方信用取得が困難とされているのはイラク、シリア(共に174位)、パレスチナ自治政府、モーリタニア、スーダン(共に166位)、ヨルダン、アルジェリア、アフガニスタン(共に150位)である。因みにこの分野の MENA の世界平均順位は115位であり10項目の中では最も低く、MENA は信用取得が困難な地域であると言える。

#### (6) Protecting Investors(投資家保護)

MENA で投資家が最も確実に保護されているのはイスラエルで同国の世界ランクは第5位である。これに続くのがサウジアラビア(世界ランク17位)、クウェイト(29位)、チュニジア(46位)である。

これに対して低いランクにあるのがアフガニスタン(183位)でこれは世界最下位でもある。またイラン(166位)、スーダン(155位)などもランクが低い。中東のビジネスハブとして近年脚光を浴びている UAE はヨルダン、イラクと同じく世界122位で投資家保護の評価が低い。同国のドバイには日本から数多くの企業が進出しているにもかかわらず、投資家保護が十分でないことは懸念すべき材料である。

#### (7) Paying Taxes(徴税)

この項目の世界順位はカタール(2位)、UAE(7位)、オマーン(9位)、サウジアラビア(10位)の4カ国が世界のトップ・テンに入っている。またクウェイト及びバハレーンもそれぞれ15位、18位でありGCC6カ国が MENA の上位を独占している。GCC では個人所得税が免除されているほか法人税も非常に低い。この点がビジネス環境として高く評価されているようである。なおこの項目の MENA の世界平均順位は69位であり10項目の中では最も順位が高い。但し一方ではトルコ(79位)、イラン(126位)、エジプト(145位)など税負担のレベルが高い国がある。MENA は一部の産油国とその他の国で徴税レベルの格差が大きい。因みにこの項目の日本の世界順位は120位とかなり低い。

#### (8) Trading Across Borders(通関)

事業用の資本財を輸入し、或いは完成した製品を輸出するためには税関手続きが簡単であることが望ましい。この分野では UAE が世界第5位であり評価が高い。ドバイのジュベール・アリ自由貿易ゾーンはソフト、ハードの両面で周辺国の追従を許さない3国間貿易の拠点であり、このことが高い評価につながっている。これに次ぐのがイスラエル(世界10位、以下同じ)で輸出立国を運命付けられた同国の政策に負うところが大きいのであろう。以下サウジアラビア(18位)、チュニジア(32位)、モロッコ(43位)、オマーン(47位)と続いている。エジプト(64位)、トルコ(80位)はほぼ世界の平

均レベルである。一方評価が低いのはイラク(180位)、アフガニスタン(179位)、スーダン(151位)などである。

#### (9) Enforcing Contracts(契約強制力)

この項目のトップはイエメン(世界38位、以下同じ)で、これに次ぐのがイラン(50位)である。一方でサウジアラビア、UAE はそれぞれ世界138位と134位で評価が非常に厳しく、一見意外な評価と言える。この分野の MENA 各国の評価は総合順位とかなり異なっている。GCC 各国は上記サウジアラビア、UAE の他、クウェイト(117位)、バハレーン(114位)、オマーン(107位)など軒並み100位以下である。契約強制力の分野では世界レベルからかなり遅れているようである。

#### (10) Resolving Insolvency(清算)

事業の撤退を決断した場合、清算手続きをスムーズに行う必要があり、起業(項目1参照)と同様外国投資家にとっては重要な要素である。この面ではバハレーンが世界25位であり、MENA 地域では最も高い評価を得ている。これに続くのがカタール(世界37位、以下同じ)、チュニジア(同38位)、イスラエル(同45位)、クウェイト(48位)である。

これに対しイラク及びパレスチナ自治政府は世界最下位(183位)である。このような中で UAE が世界151位と極めて評価が低い点は注目される。

### 4. 主要5カ国と日本との比較(レーダーチャート)

図はサウジアラビア、エジプト、トルコ、UAE 及びイランと日本の項目別世界順位をレーダーチャートとして表示したものである。

(拡大図は<http://members3jcom.home.ne.jp/maeda1/5-13cByItem2012.pdf> 参照)

レーダーチャートは最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界181位である。また最上段の1から11までの数字は1が総合順位であり、2~11までは前項に述べた調査項目の(1)から(10)を示している。各分野の世界順位を結ぶ青い輪が各国の状況である。レーダーチャートの青い輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野の世界順位が平均していることを示している。

総合順位が世界12位のサウジアラビアは登記分野で世界一位の他、起業、建設許可取得、電力事情、投資家保護及び通関で世界20傑に入っておりビジネス環境は全般的にかなりすぐれている。但し契約強制力は世界138位とかなり低く、清算の評価も多少見劣りがする。

サウジアラビアと世界20位の日本を比較すると、日本は清算の分野では世界一位であり、通関(世界16位)、投資家保護(同17位)、信用取得(同24位)及び電力事情(同26位)の分野ではビジネス環境が優れているとの評価を受けているのに対し、起業(107位)或いは徴税(120位)の分野では世界順位が低く、サウジアラビアに対してかなり見劣りがする。また建設許可取得、登記の分野でも世界平均をやや上回る順位にとどまっている。サウジアラビアと日本の両国を比べると投資家保護及び通関、電力事情の三分野では共に順位が高いが、その他の7分野では一方の順位が高

ければ他方の順位は低く、対照的な様相を見せている。

UAE は総合順位が世界33位であるが項目別に見るとかなり順位の高低差が激しい。即ち電力事情(世界10位)、登記(6位)、徴税(7位)及び通関(5位)の4分野では世界最高水準であるが、投資家保護、契約強制力及び清算についてはいずれも世界120位以下であり、全体的にバランスを欠いたビジネス環境のようである。

総合順位が世界71位のトルコの場合は建設許可取得(世界155位)清算(同122位)の世界順位が低く、その他の項目は世界平均をやや上回る50位~70位前後である。同国のビジネス環境は比較的バランスが取れていると言えよう。またエジプト(総合世界順位110位)は、起業分野のみ優れているが(世界21位)、その他の分野は世界平均を下回っており、特に建設許可取得(同154位)、契約競争力(147位)、徴税(145位)、清算(137位)などがかなり見劣りする。イランは総合順位144位で世界の平均以下であるが、項目毎に見ても殆どが世界100位以下であり、起業(世界53位)、契約強制力(同50位)が目立つ程度である。

## 5. 2008~2012年の順位の推移

(表<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-13b2008-2012.pdf> 参照)

2008年から2012年までの5カ年について各国の MENA 域内の順位を見ると、サウジアラビアが5カ年連続して MENA トップの評価を得ている。UAE は2008年には MENA 19カ国中の6位であったが、その後毎年順位を上げ今回はサウジアラビアに次ぐ2位となった。イスラエルは5年間を通じて常に2位又は3位である。またカタールは2009年からランク付けされ常時4位又は5位を占めている。GCC6カ国は毎年 MENA の上位を占めているが、上昇傾向の UAE、安定したサウジアラビアやカタールに比べ、クウェイトは5年間で3位から8位に下落しており、またバハレーンも2位から5位に、オマーンは4位から7位に下がり、これら3カ国はビジネス環境が悪化していることを示している。

5カ年の世界順位の推移を見るとサウジアラビアは23位(08年)→16位(09年)→13位(10年)→10位(11年)→12位(12年)であり、最近では10位台前半を維持している。世界順位の上昇が著しいのは UAE であり、同国の順位は2008年から2010年にかけて68位→46位→33位と急速に上昇し、その後30位台前半を続けている。UAE と同じように順位を上げているのはチュニジアで2008年の88位から2011年には40位に上がり、今回は46位と若干下がっている。同国は今年初めに政変があり、最近の総選挙でイスラム政党が第1党になった。今後ビジネス環境にどのような変化が起こるか注視する必要があるようだ。これに対してクウェイトのビジネス環境は40位(08年)→52位(09年)→61位(10年)→71位(11年)と4年間で30位以上ランクを落としており今回(67位)も低迷したままである。またバハレーンは2009年からランク付けされたが、18位(09年)→20位(10年)→33位(11年)→38位(12年)と急激にランクを下げている。同国の場合近年 UAE のドバイに地域のビジネス・ハブの地位を脅かされ、またカタールが急速にビジネス環境を整えてきたため相対的に地位が低下している。加えて今年はシーア派による反政府デモが発生するなど不安定の度合いを増しており、同国のビジネス環境は改善の兆しが見えない。

## 6. MENA 主要5カ国と日本、中国の世界順位の比較

(図<http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/5-13d2008-2012.pdf>参照)

サウジアラビア、イスラエル、UAE、トルコ及びエジプトの5カ国に日本及び中国を加えた7カ国の2008～2012年の世界順位の推移を見ると、サウジアラビアは2008年は日本(12位)より低い23位であったが、2年後の2010年には日本を抜いて世界13位となりその後もランクは10台前半である。これに対し日本は2008年、2009年と連続して世界12位であったが、2010年には15位に下がってサウジアラビアに追い抜かれ、2011年、12年はさらに順位を落とし20位にとどまっている。

イスラエルは5年間を通じて30位前後であり、2008年に世界57位であったトルコは2010年に73位に落ち、その後も70位台前半で低迷している。一方、UAE の2008年の順位は世界68位であり、トルコ及びイスラエルよりも低かったが2009年、2010年の2年間で一気に30位台前半に躍進し今回はイスラエル(世界34位)をしのぐ33位となった。

中国の国際順位は83位(08年)→83位(09年)→89位(10年)→87位(11年)→91位(12年)と長期低落傾向が見られる。中国は GDP が日本を追い抜き世界第2位になるなど経済発展が著しいが、ビジネス環境については改善されるどころかむしろ悪化していると評価されており、長期的にみて問題含みである。なおエジプトは2008年の126位以降、114位(2009年)、106位(2010年)と2年連続して順位をあげているが、世界全体から見れば平均をかなり下回っておりビジネス環境の改善余地が大きい。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; [maeda1@jcom.home.ne.jp](mailto:maeda1@jcom.home.ne.jp)